

-timeless- YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD YKBX

2013年08月06日[火] — 08月18日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像01】本展覧会DM使用画像 ©YKBX

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年8月6日[火]から8月18日[日]まで、様々な映像作品のディレクションや制作に加え、イラストレーションやグラフィックデザインなどを手掛けるYKBXによる個展「-timeless- "you were talking about the end of the world"」を開催いたします。

本展は、2013年5月に渋谷オーチャードホールで行われたボーカロイドオペラ「THE END」では共同演出と映像ディレクター、キャラクターデザインを務めたYKBX(アーティスト/アートディレクター)の、『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD』シリーズの平面作品と、『ignite JK』シリーズの平面作品とともに、アップデートされた『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD∞』の映像作品を中心に、昨年マイアミで行った"PULSE ART FAIR"のスピノフ展示として、Gallery PARCにて国内初展示いたします。

世界の終焉を迎える瞬間をスクリーンにとどめ、浮遊させる試みである『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD∞』、女子高生(15歳~18歳の精神的にも肉体的にも、子供と大人の中間の存在)をモチーフとした『ignite JK』。

「過ぎ去る時間と風景・再生と消失」を一貫したテーマとして、YKBXによる圧倒的な画力により示されたこれら作品が一連で展示される本展は、YKBXの世界観が鮮烈に映しだされる空間になるでしょう。平面・映像作品からなる本展をどうぞお楽しみください。

-timeless- YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD YKBX

2013年08月06日[火] — 08月18日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 -timeless-
"you were talking about the end of the world"
YKBX 展

出品作家 YKBX <http://yokoboxxx.com/>

会期 2013年08月06日[火] — 08月18日(日)
11:00~19:00 ※月曜休廊・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【平面・映像】
ボーカロイドオペラ『THE END』では共同演出と映像ディレクター、キャラクターデザインを務めたYKBXによる個展。
昨年マイアミで開催した"PULSE ART FAIR"のスピノフ展示として、『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD』シリーズ、『ignite JK』シリーズの平面作品とともに、『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD∞』の映像作品を中心に展示。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]
〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48
三条ありもとビル
【Tel&Fax】075-231-0706
【Mail】info@galleryparc.com
【HP】http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分
地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分
三条通・御幸町通の交差点北西角
[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク]
(正木・永尾)
〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48
三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F
【Tel&Fax】075-231-0706
【Mail】info@galleryparc.com



【広報画像02】

"you were talking about the end of the world"(KURO)

©YKBX

-timeless- YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD YK BX

2013年08月06日[火] — 08月18日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

YK BX(アーティスト/アートディレクター)によるエキシビション「-timeless- "you were talking about the end of the world"」は、2012年12月「PULSE ART FAIR MIAMI」にて発表されたYK BXのオリジナル作品『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD』シリーズの平面作品2点、『ignite JK』シリーズの平面作品数点、そしてアップデートされた『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD∞』の映像作品をGallery PARCにて国内初出展する。

『YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD∞』は、世界の終焉を迎える瞬間をスクリーンにとどめ、浮遊させるところみである。YK BXによる圧倒的な画力が生み出したモチーフがスクリーン上に、曼荼羅のように増殖していく。それらはコンピュータ・プログラムによって、通常のアニメーション手法では不可能なほどの圧倒的な物量に増殖され、鑑賞者を圧倒する。

この作品は、通常の映像と違って、始まりも終わりもない。乱数によって、再現不可能なイメージが増殖され続けている。

『ignite JK』は、「日本社会においては、年齢が若いということがもてはやされている。“女子高生”(JK)は、日本において最も商品価値が高い女性の形態。たった3年間の“賞味期限”を彼女達は生き、JKというブランドを全うする。学校が与える制服は、どんなハイブランドよりも価値の高いものである。」として、「JK(=女子高生)を15歳~18歳の精神的にも肉体的にも、子供と大人の中間。まさにネオテニーを体現する存在」として取り上げている。

本作品においてYK BXは、JK自身の内圧と外圧からくる熱量を自己発火している表現に置き換えてビジュアライズした。世間における立ち位置は不安定で頼りないが、なにも彼女達を妨げることはできない。

そのエネルギーは、発熱ともいえる。その熱は力強いものでもあるが、3年間の限られたタイムラインでのみ作用する熱である。今現在の自分自身という存在を自己発火し、燃やし尽くしていく様は、まるでロウソクのようにも捉えられる。

これらの作品により、エキシビション「-timeless- "you were talking about the end of the world"」は、YK BXの世界観が鮮烈に映しだされる空間となるだろう。



【広報画像03】

"you were talking about the end of the world"(SHIRO)

©YK BX

-timeless- YOU WERE TALKING ABOUT THE END OF THE WORLD YKBX

2013年08月06日[火] — 08月18日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

【作家略歴】

YKBX

Director / Art Director / Artist

各種映像作品のディレクションや制作に加え、イラストレーションやグラフィックデザインなどを手掛ける。

トータルアートディレクションを目指した作品を数々制作し、国内外の映画祭やイベントで高く評価される。

2013/5/23,24、渋谷オーチャードホールで行われたボーカロイドオペラ「THE END」では共同演出と映像ディレクター、キャラクターデザインを務めた。

また同作は11月にパリ・シャトレ座での海外公演も決定している。

【ステートメント】

本展は、YKBXオリジナル作品 "you were talking about the end of the world" と "ignite JK" から構成され、昨年マイアミで開催された "PULSE ART FAIR" のスピンオフ展示となる。

これらの作品に対して一貫したテーマは、「過ぎ去る時間と風景・再生と消失」としている。

無限に生まれては消えていく大量イメージのカオティックな曼荼羅を表現した『you were talking about the end of the world』シリーズから、その平面作品《you were talking about the end of the world》(SHIRO) と《"you were talking about the end of the world"》(KURO) を展示し、ネガとポジという対になるものを並列に配置し相殺され続ける相互の空間・関係性のある種の無限性として表現した。

また、プログラミングでそれを体現し無限の時間軸を再現した『you were talking about the end of the world" ∞(infinite)』は、永遠と流れ続ける大量のイメージを、生産と消費を圧倒的な速度で循環させ、映像作品として収めた。

*この "you were talking about the end of the world" シリーズに関しては、アップデートしていく事を前提としており、現時点でいくつものバージョンが存在する。

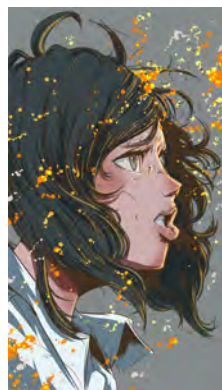
"ignite JK" 消失する10代。女子高生=JKを限りある生命体として客観的にオブジェクトとして描いたもの。自らの熱量を、無自覚に発火・燃焼させ、消失していく10代のイノセントを表現した。



【広報画像04】

"ignite JK kinpatsu"

©YKBX



【広報画像 左から05・06・07】

"ignite JK kurokami"

"ignite JK chapatsu"

"ignite JK ash"

©YKBX